必ずお守りください。 安全上のご注意 ▶

⚠警　告

<アルカリ電池について>

(1)ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。

(2)万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合にはきれいな水で洗い流し、眼に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

<梱包用ポリ袋について>

ポリ袋は絶対にかぶらないでください。

⚠注　意

<掛け方について>

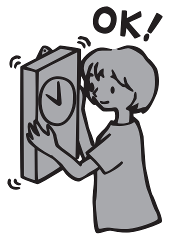
時計は確実に掛けてください。
落下により、けがおよび器物を破損する恐れがあります。
掛ける場所、壁の材質・構造をご確認の上、この時計の重さに充分耐えられる掛け具を選んでください。ご使用の際は掛け具に同梱の案内文も必ずお読みください。
記載以外の取付面の場合は、建築メーカー等へご相談ください。

※掛け具に時計を掛けた際、時計を上下左右そして手前に軽く動かし、正しく掛かっていることを確認してください。

木の厚い壁・木の柱に掛けるとき
添付の木ねじをご使用ください。

石膏ボードの壁に掛けるとき
添付の掛金具、釘をご使用ください。

コンクリート等、上記以外の壁・柱に掛けるとき
添付の掛け具は使用しないでください。
市販の掛け具をご使用ください。



⚠注　意

<電池について>

下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと液もれや破裂のおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。

(1)⊕⊖を正しく入れてください。

(2)製品仕様の電池寿命を経過した場合は、時計がまだ動いていてもすべて指定の新電池と交換してください。また、時計を使わないときは電池をすべてはずしてください。電池の一部の交換や、電池を入れたままにしておくと、他の部分の止まりや古い電池からの液漏れ等で時計や、周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。

(3)この電池は充電式ではないので充電すると液もれ、破損のおそれがあります。

(4)電池に直接ハンダ付けしたり、水滴をつけないでください。

(5)直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。また使用済みの電池は、速やかに処分または幼児の手の届かないところに保管してください。

(6)時計が動かない等の場合、電池端子が汚れている場合があります。やわらかい布などでクリーニングしてください。

(7)添付の電池は工場出荷時より付けられています。時計の電池寿命は製品仕様の表示より短いことがあります。

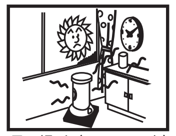
<時計の設置場所について>

落下や転倒により、けがおよび器物を破損する恐れがありますので、振動のある所や、不安定な場所には時計を設置しないでください。

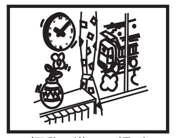
必ずお読みになってからご使用ください。 使用場所・お手入れ ▶

使用場所について

下記のような場所では使わないでください。
機械や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。また本商品は業務用ではありません。


暑い場所（＋50℃以上）

寒い場所（－10℃以下）


振動の激しい場所

湿気の多い場所

●温度が＋50℃（50度）以上になる所や直射日光のあたる所。
例えば、屋外、暖房器具などの熱風や火気に近い所。

●温度が－10℃（氷点下10度）以下になる所。
［プラスチック部品や電池の劣化が起きることがあります。］

●塵、埃の多い所。
［空気中に舞い上がったごみが歯車や接点に挟まって時計が止まったり、音が鳴らなくなることがあります。］

●大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。
［磁力の影響で進み、遅れを生じたり、時計が止まることがあります。］

●浴室など湿気の多い所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接あたるような所。

●振動のある所。不安定な所。

●工場、台所など多くの油を使用する所。
［霧状になった油分が機械の歯車等に付着し、時計が止まることがあります。］

●ビニール系素材の壁や敷物等の上。
壁や敷物および時計を汚したり傷めることがあります。

●木枠の時計の場合には、空気が非常に乾燥した状態や湿気の多い状態が続くと、枠が傷むことがあります。また、４０度以上の高温になりますと、接合部のフクレやハガレが起きる場合があります。

●電波ノイズを発生させるものの近く。
高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やＯＡ機器の近く。
工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など電波障害の起きる所。
乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）

●スチール机等の金属製の家具の上や近く、金属製の壁の近く。

お手入れについて

長くご愛用いただくために、２・３年に一度の点検・調整(有料)をおすすめいたします。販売店にご相談ください。

●ベンジン、シンナー、アルコール、ミガキ粉、各種ブラシなどは使わないでください。殺虫剤、ヘアスプレーなどもかからないようにしてください。変色、傷の恐れがあります。

プラスチック枠の時計の場合

●枠をふくときは、湿った、やわらかい布でふいてください。

●よごれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を少量、やわらかい布につけてふき、ふいた後で乾ぶきしてください。

木枠・金属枠の時計の場合

●よごれやほこりをとるときは、やわらかい布で乾ぶきしてください。

※お客様が分解しますと、修正不可能になる場合やけがの恐れがあり大変危険です。また保証の対象外となりますのでご注意ください。

製品仕様 ▶

●精　　　　度：平均月差±２０秒
（電波受信による時刻修正を行なわない場合）
（気温５℃から３５℃で使用した場合）

●表示精度：±１秒（時分針は±３度）
（電波受信による時刻修正を行なった直後）

●使用温度範囲：－１０℃～＋５０℃（デジタル表示部は０℃～４０℃）

●カレンダー：２０００年1月1日～２０９９年１２月３１日のフルオートカレンダー
月末、うるう年とも修正不要

●表　　　　示：日付（月／日、曜日）

●使用電池：単2アルカリ乾電池4個（ＪＩＳ規格 ＬＲ１４）

●電池寿命：約3年
（1日につき音量（中）の状態で１０回報時した場合）

●電波受信機能：自動受信（1日 8回）
（受信から次の受信まではクオーツの精度で動いています。）
手動受信（強制受信）

●時刻合せ機能：電波受信による自動セット

●電池切れ予告機能：秒針が「１２時の位置」で停止し、電池交換マークが点滅して、電池交換時期をお知らせします。

●光センサーによる自動秒針停止機能：暗くなると秒針が「１２時の位置」で停止します。

●プログラムチャンネル：最大３２チャンネルを分単位で設定できます。
（電池交換時データバックアップ有）

●音量調節：無段階式

＊上記の製品仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。

保証・アフターサービス ▶

●この時計はメーカー保証です。
保証の内容については別添の保証書をご覧ください。
尚、保証書は日本国内のみ有効です。
また、アフターサービスも海外ではできません。

●保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、お買上店がお預かりしメーカーが無料で修理いたします。必ず販売店名捺印の保証書を添えてご依頼ください。

●保証期間中でも無料修理の対象とならない修理品および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。

●この時計の修理用部品は、７年間保有しています。
この期間は原則として修理が可能です。
修理用部品とは製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。
修理の可能な期間は、ご使用条件により異なります。また修理可能な場合でも元通りの精度にならない場合があります。お買上店とよくご相談ください。

●修理のとき、部品・その他の付属品は、一部代替部品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。

●保証期間外、もしくは無料修理の対象とならない修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場との間の往復運賃、諸掛り費用をお客様にご負担いただきます。代金が標準小売価格を上回る場合があります。

●保証期間中・経過後とも、修理品はお客様がお買上店にお持込みいただきます。修理を依頼されるときはお買上店にご持参ください。

●ご不明の点はお客様センターにお問い合わせください。

SEIKO

掛時計

取扱説明書

電波クロック

このたびはセイコークロック商品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

この取扱説明書の内容は、予告なしに変わることがあります。
印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が、実際の表示と異なる場合があります。
この時計によって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。
この取扱説明書を製造者の許可なくして変更・複製することを禁じます。

本製品、ならびにアフターサービスなどにつきましてご不明なことがございましたら、製品本体の裏面または底面に表示してあります製品番号(品番)をご確認のうえ、セイコークロック(株)お客様センターにお問い合わせください。

（例：ＡＭ○○○、ＰＷ○○○、ＫＧ○○○など）

お客様センター　フリーダイヤル　0120-315-474

http://www.seiko-clock.co.jp

発売元
セイコークロック株式会社

Ⓣ　説明書番号　APT-006J

故障かなと思ったときには ▶

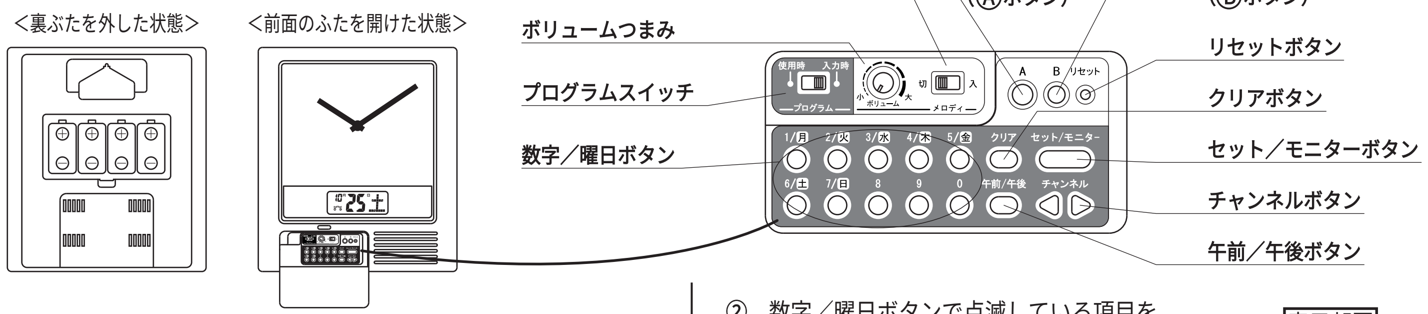
製品が正常に作動しないときは、修理を依頼する前に、この表を参考にお調べください。なお電池は買い置き品でなく、新規購入品をご使用ください。

症　状	考えられる原因	処　置
針が動かない	・電池が入っていない。 ・電池が正しい向きで入っていない。 ・電池端子や接片が汚れている。	・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、リセットボタンを押してください。 ・電池端子や接片の表面を拭いてください。また、電池を入れて２～３回まわしてリセットボタンを押してください。
	・静電気などによりマイコンが誤作動している。	・リセットボタンを押してください。
	・強制受信中または時刻修正中である。	・受信終了後、通常の運針に戻ります。
針が不規則に動く	・強制受信中または時刻修正中である。	・受信終了後、通常の運針に戻ります。
秒針が「１２時の位置」で停止している	・秒針停止機能が動作している。 ・電池が古くなっている。 （裏面「その他の機能」参照） ・自動受信中である。	・室内を明るくすると秒針が動き始めます。 ・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、リセットボタンを押してください。 ・受信が終了すると秒針が動き始めます。
スイッチ操作が効かない	・受信に成功し、時刻修正中である。 ・リセット後、受信動作中である。	・時刻修正動作が終了してから、再度スイッチ操作をしてください。
時刻が合っていない	・受信が成功していない。	・「■電波が受信できなかった場合」をお読みになり、再度受信させてください。
	・電池が古くなっている。	・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、リセットボタンを押してください。
	・きちんとリセットされていない。	・確実にリセットボタンを押してください。

ご使用方法

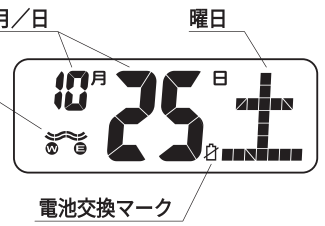
■ 操作部

時計のデザインにより電池、ボタンの位置等は異なる場合があります。



■ 液晶表示部

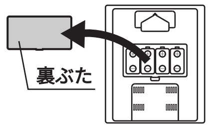
受信マーク
電波の受信状態を表示します。
電波の受信中または２４時間以内に受信が成功していると点灯します。
Ⓦ が点灯：九州送信所からの電波の場合
Ⓔ が点灯：福島送信所からの電波の場合



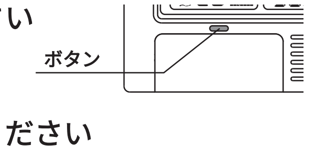
ご使用の前に付属品をご確認ください。
- ●単２アルカリ乾電池４個
- ●掛け具（①木ねじ１本➡木の厚い壁・木の柱専用 ②掛金具1個、釘5本(うち1本は予備)➡石膏ボードの壁専用）
- ●取扱説明書（本書）１枚　●保証書１枚

■ ご使用方法

１．電池を入れてください
（単２アルカリ乾電池４個）
裏ぶたを開けて電池を入れてください。
⊕ ⊖ をまちがえないように注意してください。



２．前面のふたを開けてください
ふたの上にあるボタンを押してふたを開けてください。

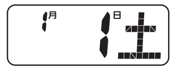


３．リセットボタンを押してください
受信を開始し、自動的に現在時刻に合わせます。
- ●秒針が「１２時の位置」で停止後、時分針が動き出し、下記時刻のいずれかで一時停止し、電波受信を開始します。
(1:50、3:10、5:50、6:10、8:30、9:10、11:10、12:10)
- ●受信中（最長約２０分間）は受信マーク が信号に応じて変化します。
（上記「■液晶表示部」をご覧ください。）
- ●受信に成功した場合
受信マークが表示され、自動的に時分針を現在時刻に合わせます。日本標準時が「０秒」になると同時に秒針が動き出します。

<受信に成功した場合>

- ●受信できなかった場合
受信マークが消え、秒針が動き出します。このとき時刻修正は行いません。
右記「■電波が受信できなかった場合」にしたがって場所を変えて再度受信させるか、手動操作で時分針を現在時刻に合わせてください。

<受信できなかった場合>



注）**電池交換後は、必ずリセットボタンを押してください。**

４．プログラム時刻を合わせてください
- ●設定した曜日・時刻に設定した曲で報時をすることができます。
- ●最大３２チャンネルのプログラムを分単位で設定できます。

右上 表示部図 をご参照ください

① プログラムスイッチを“ 使用時 ”から“ 入力時 ”に切り替えてください。
- ●液晶表示部がチャンネル１の曜日合わせ表示に切り替わり曜日が点滅します。
- ●他のチャンネルを設定する場合は、チャンネルボタンでチャンネルを選んでください。

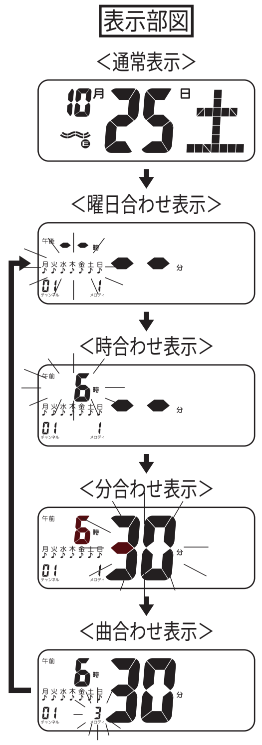
② 数字／曜日ボタンで点滅している項目を合わせたあと、**セット／モニターボタンを押して次の項目の設定に進んでください。**

[曜日合わせ表示]
- ●数字／曜日ボタンを押すたびに♪の表示 無／有をくり返します。　♪表示有：報時する
♪表示無：報時しない
- ●あらかじめすべての曜日に報時するよう設定してあります。

[時、分合わせ表示]
- ●数字／曜日ボタンで時、分を合わせます。
- ●時、分合わせ表示のときに午前／午後ボタンを押すと午前／午後が切り替わります。
- ●正午は「午後１２時００分」、真夜中の０時は「午前１２時００分」と表示されます。

[曲合わせ表示]
- ●数字／曜日ボタンで曲を選びます。
（あらかじめ曲１に設定してあります。）
[曲目] 1 ウエストミンスター・チャイム
2 グリーン・スリーブス
3 花
4 思い出
5 埴生の宿
6 ダニー・ボーイ
- ●選んだ曲を試し鳴らしします。

表示部図



③ 曲合せのあとセット／モニターボタンを押すと次のチャンネルの曜日合わせ表示に切り替わり、続けて設定することができます。他のチャンネルを設定する場合は、チャンネルボタンでチャンネルを選んでください。

④ 設定が終わったら、プログラムスイッチを“ 入力時 ”から“ 使用時 ”に切り替えてください。

- ●設定したプログラムは、電池の交換やリセットボタンを押しても消えません。
- ●下記の場合は報時をしません。
・切替スイッチが“ 切 ”のとき
・プログラムスイッチが“ 入力時 ”のとき
・試し鳴らし（モニター）中
・手動で時刻を合わせているとき
- ●設定したプログラムを確認するには
・プログラムスイッチが“ 使用時 ”のとき、チャンネルボタンを押すたびに各チャンネルの設定内容を約３秒間表示します。
（このとき試し鳴らしはしません。）
- ●設定したプログラムを削除するには
・プログラムスイッチを“ 入力時 ”に合わせてクリアボタンを押すと、表示しているチャンネルの設定を削除します。チャンネルボタンでチャンネルを選んでからクリアボタンを押してください。
・すべてのチャンネルの設定を一度に削除するには、プログラムスイッチを“ 使用時 ”に合わせて、クリアボタンを液晶表示部に“ CL ”と表示されるまで（約5秒）押し続けてください。
- ●同じ曜日、同じ時刻に複数のプログラムが設定された場合、チャンネル番号の大きいプログラムで設定されている曲で報時します。

５．試し鳴らし（モニター）について
プログラムスイッチが“ 使用時 ”のとき、セット／モニターボタンを押すと試し鳴らしをすることができます。ボリュームつまみを回してお好みの音量に調節してください。

６．鳴り止めについて
報時中に切替スイッチを“ 入 ”から“ 切 ”に合わせると報時を中断することができます。

その他の機能

■ 自動受信について
毎日８回、自動で電波受信を行ないます。
受信に成功すると現在正しく表示している時刻を修正します。
受信に要する時間は、最長約２０分間です。
- ●受信中（最長約２０分間）は針が不規則な動きをすることがあります。
秒針：１２時の位置で停止
分針：約３０秒毎に運針

■ 電波が受信できなかった場合

１．電波を強制的に受信して時刻を合わせてください
受信ボタン（Ⓐボタン）を受信マークが点滅するまで（約２秒）押し続けると、針が停止し受信を開始します。
- ●受信できなかった場合、針は元の時刻に戻ります。場所を変えてもう一度受信させてください。
- ●詳しくは右記 電波クロックについて をご覧ください。
また、夜間は昼間にくらべて受信状態が良くなりますので、昼間に受信できなかった場合でも翌日までに自動で受信できる場合があります。

２．手動で時刻を合わせることができます
電波を受信できない場合は、手動で時刻を合わせることができます。

① モードボタン（Ⓑボタン）を液晶表示部が年合わせ表示 に切り替わるまで（約２秒）押し続けてください。

② セット／モニターボタンを押すごとに右図のように順に表示が点滅します。

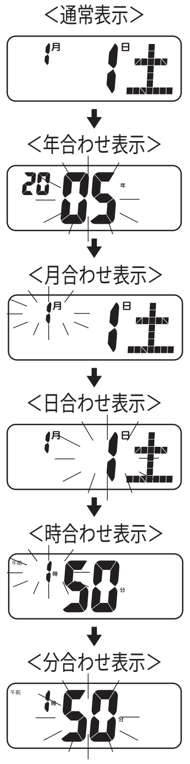
③ 数字／曜日ボタンで日付や時刻を合わせてください。

[年、月、日合わせ表示]
- ●数字／曜日ボタンで年、月、日を合わせます。
- ●年は２０００～２０９９年まで合わせられます。
- ●曜日は自動的に合わせます。

[時、分合わせ表示]
- ●数字／曜日ボタンで時、分を合わせます。
- ●時、分合わせ表示のときに午前／午後ボタンを押すと午前／午後が切り替わります。

④ 分合せが終わったら、セット／モニターボタンを時報に合わせて押してください。秒表示に切り替わり「０秒」から動き出します。
その後設定した時刻を表示し、時刻の修正が終わると通常表示に戻ります。

- ●約５分以上ボタンが押されなかった場合は、自動的に通常表示に戻ります。



■ 光センサーによる自動秒針停止機能について
光センサーにより明るさを検出し、暗くなると秒針が「１２時の位置」で停止します。明るくなると、日本標準時が「０秒」になると同時に秒針が動き出します。
- ●照明をつけている場合でも、時計周辺の明るさにより秒針が停止することがあります。
- ●秒針が停止している間でも、時分針は正しい時刻を表示しています。

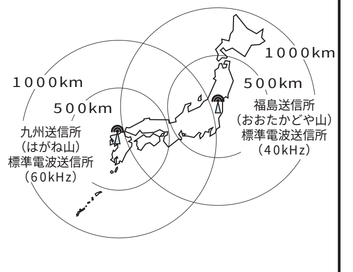
■ 電池切れ予告機能について
この時計には電池切れ予告機能がついています。電池の残量が少なくなると、明るいときでも秒針が「１２時の位置」で停止し、液晶表示部の電池交換マーク が点滅して、電池交換時期がきたことをお知らせします。新しい電池に交換してください。
- ●秒針が停止している間でも、時分針および報時は電池がなくなるまで動き続けます。

電波クロックについて

■電波時計／電波修正機能とは
正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。

■標準電波とは
情報通信研究機構（ＮＩＣＴ）が運用している時刻情報をのせた電波で、国内２ヵ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。標準電波の時刻情報はおよそ１０万年に１秒の誤差という超高精度を保つ『セシウム原子時計』によるものです。

■電波受信について
標準電波が受信可能な地域は条件によって異なりますが、送信所（東・西２ヶ所）からおおむね１０００ｋｍ～１２００ｋｍです。この製品は４０kHz（東・福島送信所）、６０kHz（西・九州送信所）のいずれか受信しやすい電波を自動的に選択し受信します。ただし、天候、置き場所、時計の向き、時間帯あるいは地形や建物の影響などによって受信できない場合があります。



■ご注意
- ●電波障害等により、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示する場合があります。また使用場所・電波状況によっては受信できない事があります。このような時は、場所を変えてお使いください。
- ●電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で計時します。
- ●標準電波は、毎時15分と45分からの各１分間はコールサインの送信を行うため一部時刻情報の送信を中断します。また設備のメンテナンスや落雷などの影響により停波することがあります。停波に関する情報は、弊社ホームページをご覧になるか、お客様センターにお問い合わせください。
（ホームページアドレス http://www.seiko-clock.co.jp）

■使用場所について
本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際はできるだけ、電波を受けやすい窓際などにおいてください。次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。
- ●ビルの中、ビルの谷間、地下。
- ●高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
- ●テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やＯＡ機器の近く。
- ●工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害の起きる所。
- ●乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）
- ●その他電波ノイズを発生させるものの近く。
- ●スチール机等の金属製の家具の上や近く。

■ 自動受信を止めるには
この時計には自動受信を止める機能があります。
（誤受信の防止や、設定時刻をずらしてお使いになりたい場合などにご使用ください。）

① 電池を入れてリセットボタンを押して、液晶表示部が表示された後に、受信ボタン（Ⓐボタン）を受信マークが消えるまで（約７秒）押し続けてください。

② 秒針が「１２時の位置」で停止後、時分針が下記時刻のいずれかまで早送りします。(1:50、3:10、5:50、6:10、8:30、9:10、11:10、12:10)

③ 秒針が再び動き出したら、左記「■電波が受信できなかった場合 2.手動で時刻を合わせることができます」にしたがって時刻を合わせてください。

- ●この機能を設定した後も受信ボタン（Ⓐボタン）を受信マークが点灯するまで（約２秒）押し続けると強制受信を開始しますが、その後自動受信はしません。
- ●この機能を解除するには、リセットボタンを押してください。

注）通常ご使用の状態で自動受信を止めるには、受信ボタン（Ⓐボタン）を受信マークがいったん点滅し、その後消灯するまで（約７秒）押し続けてください。

■ ご注意
- ●この製品には、マイコンが内蔵されています。静電気等により表示不良等誤作動することがありますが、故障ではありません。リセットボタンを押してください。
- ●リセットボタンを押した場合は、プログラム以外の設定はリセットされます。
- ●この製品は、日本標準電波仕様ですので、海外で電波修正機能は使用できません。
- ●**電池交換後は、必ずリセットボタンを押してください。**